



# 関門海峡講座 2018

なるほど！

関門海峡は古来海陸交通の要衝として大きな歴史的役割を果たし、日本の近代化の過程で港湾都市として急速な発展を遂げました。今回は関門海峡に関わる様々な歴史的遺産を「海峡遺産」と位置づけ、内容や意義、歴史的背景について詳しく解説します。

第1回

平成30年 7.7 [土] 世界文化遺産と世界の記憶

『明治日本の産業革命遺産』と関門海峡

講師：日比野 利信 (北九州市立自然史・歴史博物館学芸員・歴史担当係長)

第2回

8.4 [土] 日本遺産  
海峡がいざなう近代への時間旅行  
～海のみちしるべと「関門“ノスタルジック”海峡」～

講師：高月 鈴世 (下関市教育委員会教育部文化財保護課主任)

第3回

9.8 [土] 世界の記憶  
世界の記憶「朝鮮通信使」～関門地域を中心として～

講師：町田 一仁 (下関市立歴史博物館館長)

第4回

10.6 [土] 世界文化遺産(候補)  
世界に認められた「潜伏」という歴史  
～長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産～

講師：川内野 篤 (佐世保市教育委員会文化財課主査)

時間 10:00～12:00 全4回

場所 旧大阪商船 2F (北九州市門司区港町7-18)

■受講料/2,000円(全4回分、資料代込み) ■定員/50名(先着順)  
■受付/平成30年6月4日(月) 9:00～電話受付開始 ■主催/関門海峡ミュージアム

受付・問い合わせ先 門司港レトロ総合インフォメーション TEL 093-321-4151 (9:00～18:00)

海峡  
遺産編

# 関門学講座 2018

なるほど！

## 海峡遺産編

関門海峡は古来海陸交通の要衝として大きな歴史的役割を果たし、日本の近代化の過程で港湾都市として急速な発展を遂げました。今回は関門海峡に関わる様々な歴史的遺産を「海峡遺産」と位置づけ、内容や意義、歴史的背景について詳しく解説します。

### 日程・内容

#### 第1回 7.7[土] 世界文化遺産と世界の記憶

##### 『明治日本の産業革命遺産』と関門海峡



平成27年(2015)北九州市の八幡製鐵所も構成資産に含まれる「明治日本の産業革命遺産」がユネスコの世界文化遺産に登録されました。第1回は八幡製鐵所を中心に「石炭と鉄がつくった工業都市」として発展した北九州、港湾都市として発展した関門海峡の近代史を「明治日本の産業革命遺産」の中に位置づけて明らかにします。関連して、日本初の「世界の記憶」である山本作兵衛の炭鉱記録画についても紹介します。

講師：日比野 利信 (北九州市立自然史・歴史博物館学芸員・歴史担当係長)

1969年愛知県生まれ。日本近現代史・地域史専攻。福岡県(北九州市など各地)を中心に、近代日本の地域史・都市史を研究。研究業績として、編著書「寺内正毅と帝国日本」、論文「維新の記憶～福岡藩を中心として～」などがある。

#### 第2回 8.4[土] 日本遺産

##### 海峡がいざなう近代への時間旅行～海のみちしるべと「関門“ノスタルジック”海峡」～



古来、潮の流れに導かれて賑わいを見せ、また時代の節目と向き合ってきた下関。特に、近代以降の発展は目覚ましいものがありました。加えて、石炭によりもたらされた門司と若松の繁栄は、この地域を更なる発展に導きました。

第2回はそのような都市の成り立ちと発展・繁栄を物語る建造物を中心に、平成29年4月に日本遺産に認定された「関門“ノスタルジック”海峡」のストーリーを紹介します。

講師：高月 鈴世 (下関市教育委員会教育部文化財保護課主任)

1972年下関市生まれ。日本建築史専攻。1998年から下関市教育委員会で文化財保護に携わり、文化財建造物の保存活用にあたっている。

#### 第3回 9.8[土] 世界の記憶

##### 世界の記憶「朝鮮通信使」～関門地域を中心として～



昨年10月、「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界の記憶」に登録されました。第3回は登録の経緯と概要、朝鮮通信使と関門地域の関わりについて紹介するとともに、日韓の平和構築に貢献した朝鮮通信使の歴史的な意義について考えます。

講師：町田 一仁 (下関市立歴史博物館館長)

1955年下関市生まれ。中央大学文学部史学科卒。朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会副委員長として登録資料の選定等を行なう。著書に『わが町にきた朝鮮通信使』(共著、明石書店、1993年)、『下関市史』藩制～市制施行(共著、下関市、2009年)、『ユネスコ世界記憶遺産と朝鮮通信使』(共著、明石書店、2017年)などがある。

#### 第4回 10.6[土] 世界文化遺産(候補)

##### 世界に認められた「潜伏」という歴史～長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産～



この夏、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」がユネスコの世界文化遺産に登録される見通しです。第4回は新たに加わる世界文化遺産がどんなものなのか、250年間という長きにわたり弾圧を潜り抜けた日本人の忍耐と工夫の物語を紹介します。

講師：川内野 篤 (佐世保市教育委員会文化財課主査)

長崎県佐世保市出身。別府大学文学部史学科卒業。平成14年より現職。埋蔵文化財、近代化遺産、世界遺産登録推進を担当。

### 11月には講座の歴史舞台となった場所を巡る オプションツアーを実施予定

#### 受講案内

受講料/受講初日にご持参ください(4回分)。

納入された受講料の払い戻しはできません。

また台風や天災地変、交通機関のダイヤの乱れなどのため、やむを得ず休講することがあります。この場合も受講料の払い戻しは致しません。

申込方法/お電話にて受け付けています(50名先着順)。

定員になり次第、受付終了致します。

